



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成19年11月22日

NO.

90

第3回（9月）定例会

- 平成18年度決算認定関連記事 …………… 2～7ページ
- 委員会レポート …………… 10～11ページ
- 一般質問（10人登壇） …………… 14～18ページ

私たちは開かれた議会を目指します



町議会議員17人
写真は左上段から議席順

葉山町議会では、11月29日と12月2日に、町民の皆様のご意見を伺う会を開催します。詳細は裏表紙をご覧ください。



決算の審査風景

**第3回
9月
定例会**

平成18年度決算を認定

歳出決算総額184億1108万円

町民の税金どう使われたか

第3回定例会を9月20日から10月19日まで開催しました。町長より平成18年度一般会計と国民健康保険・老人保健医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の決算認定をはじめ、19年度一般会計及び4特別会計の補正予算、引揚者住宅使用条例を廃止する条例など、10議案が提出されました。また、町長行政報告や専決処分の承認、住民からの陳情や請願が8件提出されました。

決算に対する総括質問は7人、行政の問題点に対する一般質問は10人が行いました。

決算の認定については、決算特別委員会に付託し、慎重に審査して本会議に報告されました。それぞれ3人の議員が反対、賛成の討論を行いました。すべて原案のとおり可決しました。

決算特別委員会

8人の決算特別委員会（委員長・横山すみ子、副委員長・加藤 清、委員・待寺真司、近藤昇一、畑中由喜子、佐野司郎、伊藤友子、森 勝美）を設置し、10月1日から5日まで関係部課長などの出席を求め、細部にわたり審査を行いました。

平成18年度の予算が事業目的に沿い、いかに効果的に執行されたか、また運営の改善がなされたか、行政努力の効果が発揮されたか、福祉や環境面でも向上しているかなど慎重にチェックしました。

平成18年度 各会計別決算状況

区分 会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	99億2,109万1,500円	100億 961万5,773円	94億3,953万5,294円	5億7,008万 479円
国民健康保険特別会計	31億1,076万7,000円	31億 713万3,562円	28億7,692万8,501円	2億3,020万5,061円
老人保健医療特別会計	25億8,753万4,000円	25億3,772万6,067円	25億3,000万4,705円	772万1,362円
介護保険特別会計	19億2,390万9,000円	18億5,261万9,571円	18億 582万 731円	4,679万8,840円
下水道事業特別会計	18億2,129万8,000円	18億1,935万7,372円	17億5,879万6,941円	6,056万 431円
合 計	193億6,459万9,500円	193億2,645万2,345円	184億1,108万6,172円	9億1,536万6,173円

決算特別委員会審査

どんな**成果**があったか

事業ごとに審査しました（主な事業）

緑地管理事業

(87万3千円)

緑地所有者との保全契約により環境づくりに努めた。葉桜緑地崩落危険度調査、イトーピア緑地崩落対策工事等を行った。

くれ竹の郷葉山推進事業

(96万5千円)

くれ竹の郷葉山推進事業事務局業務、町民まちづくり活動パートナーシップ事業、町民活動支援補助金交付事業を行った。

障害者自立支援事業

(1億4256万6千円)

障害者自立支援法の施行に基づき、障害者の地域生活と就労の改善に努めた。なお、身体・知的・精神の障害別福祉サービスの一元化を進めた。

(仮称)保育園・教育総合センター複合施設整備事業

(1億9773万6千円)

教育福祉行政の総合的な施設を建設し、必要な調整等を関係機関と行った。

保育園開設準備事業

(85万2千円)

保育園の開設に必要な消耗品、備品等を購入した。

子育て支援センター設置準備事業

(210万円)

子育て支援センター設置のため、旧保育園の耐震2次診断を行った。

健康づくり事業

(133万9千円)

健康いきいき教室等の開設、疾病予防、健康づくり事業の推進を行った。

環境保全対策事業

(326万2千円)

容器包装プラスチックの分別収集に伴い、「ごみと資源物の分け方・出し方」の案内パンフレット等の作成、配布を行った。また、下山川流域生態系調査委託等を行った。

資源化・減量化推進事業

(158万2千円)

町内会、自治会等の協力を得て、古紙・古繊維の集団回収を行うとともに空缶回収機による回収・資源化の推進を図った。

真名瀬漁港再整備事業

(1億5235万1千円)

真名瀬漁港の防波堤を延伸・新設し泊地の静穏化を図りながら効率的な作業ができるように漁港の再整備を行った。

商工活動等支援事業

(1267万2千円)

商工業関係者の総合的な経営改善と地域産業の健全な発展に寄与する事業に対して助成を行った。

都市計画推進事業

(757万5千円)

都市計画基礎調査業務委託、地区計画策定調査業務委託を行った。

街路整備事業

(4677万5千円)

都市計画道路五ッ合森戸線及び向原森戸線の整備に係る物件補償及び整備工事を行った。

ドッグヤード建設工事

(158万6千円)

南郷上ノ山公園の一部に愛犬家の要望をふまえて散歩や訓練を行うドッグヤードを設置した。

教育総合プラン推進懇談会運営事業

(9万5千円)

町民の学習活動や葉山町教育総合プランの具体的な推進を図る協議を行うため、教育関係者による懇談会を実施した。

教育センター開設準備事業

(958万2千円)

教育委員会、教育研究所及び言語指導室事業の開設にあたり、施設に必要な設備、備品等を準備した。

教育センター維持管理事業

(785万1千円)

館内の維持管理業務で共通するものを一括して効率的に運営した。

小学校耐震整備事業

(1億9957万1千円)

防災機能の充実や安全性の確保を図るため、耐震整備を推進した。葉山小学校屋内運動場施設設計、上山口小学校校舎の耐震補強工事を行った。

長柄桜山古墳群調査整備事業

(251万6千円)

国指定史跡「長柄桜山古墳群」の整備、啓発等の事業を行った。

(仮称)堀口大学文庫開設事業

(610万7千円)

図書館2階会議室に、堀口大学文庫を開設した。



決算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

9月27日・28日に18年度決算に対し総括質問を8人の議員が行いました。



守屋 巨弘 (いきいき葉山の会)

問 18年度町長施政方針の中で「緑豊かな居住環境をつくるための市街地の整備関係では、景観計画や景観条例を19年3月までに策定」とあるが。

町長 もうしばらく時間を要する見通しである。
問 いつまでなのか。
都市経済部長 20年度を目途としている。
問 一般会計決算における一般廃棄物処理費の占める割合及び1トン当りのごみ処理費は県内ワースト1であり、人口1人当りのごみ処理費はワースト2である。それぞれ

の18年度の実績は。
町長 18年度一般会計歳出決算額約94億4千万円の内、一般廃棄物処理費決算額は約12億5千万円でその割合は約13%。1トン当りごみ処理費7万3590円、1人当りのそれは2万9915円。今後については、植木剪定枝の資源化等を図りたい。

佐野 司郎 (尚政会)

問 町債への考え方は。
町長 要望に対して借入れをしないで我慢していただくか、借入れをして対応するかということ。応えなければならぬものもあり慎重に対処する。上限についての目安は公債費比率15%以内だと思ふ。葉山町は5.7%で円滑に推移している。

問 景観条例制定が急がれるか。
町長 景観計画策定の目的がたつてきたところだ。住宅の町として、歩

いて訪れてくれる観光策が望まれているが。
町長 多くの町民の要望がある昭和の散歩道を整備して、多くの人が訪れ、安心して散策できる観光策に取り組む。
問 地球温暖化防止は重要行政課題とすべきだが。
町長 14年策定の実行計画の最終年を迎えている。18年度の実績評価公表に向け集計分析を進め第2期計画を策定する。

阿部 勝雄 (日本共産党)

問 まちづくり町民会議の評価と今後は。
町長 今後も継続する。

問 提言はどう入れるか。
町長 子育て分科会など、協議会と調整を重ね、改善している。
問 後期高齢者医療制度の町の対策は。
町長 低所得者に応益割7割、5割、2割の軽減がある。

問 し尿及び浄化槽汚泥の分析後の方向性は。

町長 11.5倍の希釈が必要。投入に最良の方法を検討している。
問 19年度の生活排水計画に入っていないが。
生活環境部長 少しでも早く転換したい。
問 国保会計で姑息な手段で処理された。なぜか。
町長 特段の意図はない。

問 医療費スライドで保険料を上げては安定化にはならないが。
町長 全体を視野に入れて安定化を図る。

金崎 ひさ (新葉クラブ)

問 歳入に対する見解は。
町長 厳しい状況であると認識している。

問 初めて導入された予算の枠配分方式の功罪は。
町長 職員のコスト意識の向上がはかられた。さまざまなひずみを配慮しつつ進める。
問 長者ヶ崎町有地の不法占拠に係る接道問題について。
町長 県に善処方要望を

しているがまだ結論に至っていない。
問 かながわ美化財団について。
町長 海岸の清掃方法について協議を行い、19年度は180万円減額した。
問 国民健康保険料安定のための一般会計からの繰入金適正金額は。
町長 5千万円と答弁したこともあるが、新たな制度もでき状況は変化している。

森 勝美 (蒼生会)

問 公共下水道事業で全町を網羅するのは財政的に難しい。見直しの必要があるのではないか。
町長 時代の推移を見つめつつ見直しも視野に入れて対応する。

問 枠配分方式による予算執行の評価は。
町長 重点的・効果的な予算執行がなされ、積極的な財源確保への取り組みや職員のコスト意識の向上が図られた。



運動会

問 一般会計不用額の増加要因は。

町長 電子入札システムで入札差金が増加したことで、障害者自立支援法の制度改正で利用対象者が見込みより少なかったため。

問 第三次総合計画実施計画に記載のないドッグヤード設置と利用料無料について。

町長 町内の犬の数が多く、管理・飼育は喫緊の課題。

問 在宅高齢者の福祉事業費の減少要因は。

町長 在宅高齢者の福祉事業費の減少要因は、三浦半島国営公園圏構想の進捗状況は。

伊藤 友子
(21世紀同志会と公明の会)

問 三浦半島国営公園圏構想の進捗状況は。

町長 介護保険特別会計の介護予防事業へ移行した。

問 国民健康保険特別会計の収入未済額の増加要因は。

町長 被保険者数の増加と景気低迷による失業者数の増加や収入の減少等による。

町長 被保険者数の増加と景気低迷による失業者数の増加や収入の減少等による。

研究会を3市1町で続けている。

問 『真名瀬漁港再整備計画事業』の今後を伺う。

町長 40年を経過して老朽化の激しい物揚場の整備を行った。沖防波堤の機能の充実と魚介類や藻場の環境整備を整える。今後5年間、調査を行う。

問 年々増え続ける清掃費だが、改善策はあるか。

町長 18年度の清掃費決算額は、約12億5千万円。一般会計に占める割合は、約13%である。対策として委託や処理費用削減策を検討したい。

問 経常収支比率の90%は県下21番目である。行革の努力には一定の評価をするが、行革(集中プラン)には数値目標を明記するべきと考えるが。

町長 今後も人件費の抑制、民間委託等の活用で経常経費の抑制を図る。

畑中由喜子
(いきいき葉山の会)

問 景観計画と条例は18

年度中に作るはずだった。

町長 折角なら色や形も組み入れたらと思う。20年度中に計画を仕上げる。

問 ごみ広域化で方針転換になった説明が不十分。

生活環境部長 生ごみの収集方法が逗子と鎌倉は単独で横須賀、三浦、葉山は可燃物と一緒にという違いが、2市1町になった理由と思っている。

問 下水道の接続が増えたのに、し尿の収集量が変わらないのはおかしい。

生活環境部長 調査する。真名瀬漁港再整備の環境への影響調査が必要。

町長 生物を中心とした効果調査と既に地域の住民の方に実際に船に乗って変化を見ていただいた。

問 国民健康保険特別会計では保険料の値上げ分がそのまま剰余金ともいえる。保険料を固定化する方針に改めるべきでは。

町長 方針を変えるまでの気持ちにはなっていない。

近藤 昇一
(日本共産党)

問 2市1町ごみ処理広域化で当初、植木剪定枝を葉山で処理する予定が、不燃物等の選別施設になった。その最有力候補地は現在のクリーンセンターだと説明されている。

葉山処理区(一色) 枝線築造工事

①下水道工事

②真名瀬漁港防波堤延伸工事

③南郷上ノ山公園テニスコートDEF全面改修工事

④町道525号線道路改良工事

⑤

⑥

町長行政報告
(1千万円以上
5千万円未満の契約)

①下水道工事

3559万5千円

(その2)

3458万7千円

(その3)

2982万2625円

(その4)

3013万5千円

(その6)

1879万5千円

(その9)

3657万1500円

(その2)

3444万円

(その3)

3657万1500円

南郷上ノ山公園テニスコートDEF全面改修工事

2667万円

町道525号線道路改良工事

1017万4500円

さまさまな手法を組み入れながら、対応していかなければならない。

決算特別委員会の審査報告

要 望

- 1 情報公開条例の検討及び情報公開についての職員研修を望む。
- 2 観光協会の真名瀬駐車場運営経費のうち、花火大会、潮干狩りの費用は、補助金支出等の検討をされたい。
- 3 当該年度の予算に関する付属説明書と決算に関する付属説明書は、比較対照しやすいように作成されたい。
- 4 税・保険料等の納付については、支払い方法の拡大を図られたい。(コンビニエンスストア、カード等)
- 5 町内緑地の問題については、相談窓口を一本化されたい。
- 6 いけがき設置奨励補助事業については、消防と連携し、防災面からもブロック塀撤去費用の補助等を図られたい。
- 7 住宅耐震推進事業については、利用拡大に向け制度及び補助金の見直しを図られたい。

10月1日から5日まで、関係部課長の説明及び資料の提出を求め、細部にわたる審査を行いました。審査最終日の10月11日には町長の出席を求め4項目の質問をし、その後特別委員会の意思決定を行いました。

◎質問概要

問 町長との面談を希望しているが、なかなか会えないとの声がかかえないうちに記載されているが対応を伺う。

町長 町政運営上、町民の意向を聞くことは重要であり一人でも多くの方々とお目にかかれるように心がけている。

問 月1回の町長相談日を設けてはどうか。

町長 ひとつの方法だと思いが、事前の予定がない場合でも突発的なこともあるので、現行の方法で大きな問題はないと思う。

問 在宅高齢者住宅改修費助成制度の活用状況から見て、町民が利用しにくい面があると思われる。現状を分析し、よりよい制度にすべきではないか。

町長 この制度の位置づけは福祉施策の一環として対応している。より一層の周知と制度の内容についても検討していきたい。

問 公文書公開条例の運用と解釈について、当町の公文書公開の実態は、担当課により扱いに差があり、運用にばらつきがあるのではないか。利用しやすい公開制度にすべきではないか。

町長 担当課により見解が違うということ、好ましくない。調整をはかり対応する。

問 情報の公開は、開かれた町政のパロメーターである。公文書公開条例ではなく、情報公開条例に移行して範囲を広げるべきではないか。

町長 条例施行当初から議論があつたが、何年か経過しているので、職員研修を含め、再度よく検討し対応を考える。

町長質問

◎質問事項

- 1 町長と町民の面会について。
- 2 在宅高齢者住宅改修費助成事業の制度そのものを見直しする必要がある。
- 3 公文書公開条例の運用と解釈について。
- 4 観光協会の真名瀬駐車場運営経費のうち、花火大会、潮干狩りの費用は補助金支出に変えてはどうか。



薬山ふるさとひろば

平成18年度の決算審議結果

加藤 清
待寺 真司
伊藤 友子

賛成討論

◎一般会計

- ・ 経常収支比率が下がったことは評価できる。
- ・ 税収の徴収率が上がったことは評価できる。
- ・ 斜面地における建築物の制限に関する条例の制定や一色上原地区の地区計画に向けての取り組みは、葉山のまちづくりとして評価できる。
- ・ 子育て支援策として、保育園・教育総合センター複合施設建設や児童手当の支給年齢の拡大された。
- ・ 競争性・公平性・透明性の高い一般競争入札制度確立のために電子入札制度の導入された。
- ・ 上山口小学校校舎耐震補強工事、葉山小学校体育館耐震工事実施設計がおこなわれ防災面の強化された。

◎下水道事業特別会計

- ・ 財政的に厳しい状況の中、入札差金を効果的に使って面整備を行った。
- ・ 下山川水系の水質改善に向けた整備が行われた。

◎その他特別会計

- ・ 少子高齢化が進む中、保健・医療・介護・福祉などの施策が連携して総合的に行われたことは評価できる。

近藤 昇一
畑中由喜子
森 勝美

反対討論

◎一般会計

- ・ 予算編成に一律に枠配分方式を取り入れ町民にしわ寄せをきたす予算執行である。
- ・ 特に福祉・教育・生活関連予算が大幅にカットされたのは保育園・教育総合センターの複合施設建設が影響している。また、建設にあたり自然エネルギーの導入がされなかった。
- ・ 葉山町指名停止要綱改定に当たっての町長の姿勢に問題がある。
- ・ 諸証明宅配サービス・広報ポスティング委託事業の事業評価の見直しと検討が必要。
- ・ 真名瀬駐車場委託について、観光協会の透明性を確保する上からも支出のあり方を改めるべき。
- ・ ごみ処理に関して、町独自の処理方法の費用を積算して町民の意見を聞くべきである。

◎国民健康保険特別会計

- ・ 一般会計からの繰入金は保険料の抑制に当て、一般会計に戻すべきではない。
- ・ 保険料の変化を抑えるためにも条例化で金額を定めるべきである。

◎下水道事業特別会計

- ・ 財政的に厳しい状況を考慮し、全町を対象とする公共下水道計画を見直すべきである。

賛成多数により

認定

決算審議に要した日数 6日間

各会計別決算の結果

- ◎一般会計.....賛成11人・反対5人
 - ◎国民健康保険特別会計.....賛成11人・反対5人
 - ◎老人保健医療特別会計.....全員賛成
 - ◎介護保険特別会計.....全員賛成
 - ◎下水道事業特別会計.....賛成11人・反対5人
- ※特別な事情がない限り、議長は採決に加わりません。



議員研修会開催

地方自治体議会の今後の役割等につき、去る7月30日(月)、「自治体議会の改革と求められる方向性」というテーマで、廣瀬克哉法政大学法学部教授を講師に迎え、議員研修会を開きました。

この講演の趣旨は、現在の自治体議会の危機として、議会がその存在意義を分かりやすく示せていないため、議会や議員の活動に対し、住民(選挙民)の関心が低下していることで、この代表例では選挙時の低投票率問題がある。

議会改革と称しても、住民が議会になにを期待しているのか、それに応え議会のなを改革すべきなのかを明らかにしなければならぬ。

「夕張問題」等を考えると議会が住民と種々の情報を共有しているか、住民が議会の審議過程に

参加できる機会を持つているか、等々を常にチェックすべきで、更に議会が住民の代表としての説明責任を充分果たしているかを、自ら問うべきである。

要は住民が議会活動に触れることで、地域での問題点がわかり、それに関する情報が入手でき、自分の意見を形成する手がかりが得られる場として、また問題解決の相談等に責任ある対応してもらえ、その説明を受け、その是非の評価を下す機会があるような議会を実現していくことが必要だ。

行政に対抗できる根拠は住民との強いつながりであり、その中で政策立案の場の議会の役割が開けてくるはずである。

私たちには大変参考となるお話しでした。

町村議会広報研修会に参加して

8月29日と30日の2日間、東京都千代田区で開催された町村議会広報研修会に議会広報特別委員として参加しました。

初日は「分かりやすい文章表現・表記について」、「情報時代に求められる自治体広報」、「美しい自然風景の撮り方について」それぞれ専門家の講義を受けました。

翌日は10町の議会広報を見本に広報コンサルタ

広報特別委員会委員長

畑中由喜子



歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会 計 名		補正前の予算額	補正後の予算額
一 般 会 計		9,032,442	9,409,819
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,187,427	3,321,632
	老 人 保 健 医 療	2,556,441	2,563,162
	介 護 保 険	1,980,635	2,028,809
	下 水 道 事 業	1,484,231	1,488,348
	小 計	9,208,734	9,401,951
合 計		18,241,176	18,811,770

平成19年度補正予算

(△は減額)

一般会計 (補正予算額 3億7,737万7千円)

<歳入> 主なもの 単位：千円

- ・特例交付金 △43,533
- ・普通交付税 60,656
- ・社会福祉費補助金 (国) 2,500
- ・保健衛生費補助金 4,640
- ・社会福祉費補助金 (県) 732
- ・児童福祉費補助金 1,692
- ・前年度剰余金 349,053
- ・商工費雑入 1,637

<歳出> 主なもの

- ・基金積立金 430,000
- ・システム開発事業 2,389
- ・国民健康保険特別会計繰出金 △61,000
- ・障害者自立支援事業 732
- ・入所児童委託事業 5,078
- ・下水道事業特別会計繰出金 △45,000
- ・町営住宅維持管理事業 2,208
- ・常備消防活動事業 584
- ・消防団運営事業 396
- ・予備費 41,990

国民健康保険特別会計 (補正予算額 1億3,420万5千円)

<歳入> 主なもの

- ・その他一般会計繰入金 △61,000
- ・国民健康保険事業運営基金繰入金 △20,000
- ・前年度剰余金 215,205

<歳出> 主なもの

- ・国民健康保険事業運営基金積立金事業 93,500

老人保健医療特別会計 (補正予算額 672万1千円)

<歳入> 主なもの

- ・前年度剰余金 6,721

介護保険特別会計 (補正予算額 4,817万4千円)

<歳出> 主なもの

- ・介護保険事業給付費支払基金積立金 30,000
- ・国・県支出金等返還金 7,265

下水道事業特別会計 (補正予算額 411万7千円)

<歳入> 主なもの

- ・一般会計繰入金 △45,000
- ・前年度剰余金 49,117

補正予算質疑

問 財源不足団体とは。

総務部長 普通地方交付税の算定基準に基づく。需要額に対して、収入額が下回ったため不足が生じている。

問 急に財源不足になったのか。

町長 交付・不交付ぎりぎりのところを推移している。

問 観光協会の翌年度事業費準備経費は形を変えた補助金ではないか。

都市経済部長 余剰分を協力金として納めているので補助金ではない。

問 観光協会の駐車場事業は町が土地を貸している、それを利用しているのだから、地代として徴収するべきではないか。

都市経済部長 駐車場管理の委託契約を結んでいる。

問 認定保育施設が新たに1カ所増えたが、その保育児の人数と、待機児数の現状は。

保健福祉部長 この施設ではのべ134人である。待機児削減に貢献しているがゼロになつたわけではない。

問 国民健康保険の賦課方式変更への理由は何か。

保健福祉部長 後期高齢者医療制度における賦課方式が葉山方式とは異なるため、税制改正やその他の整合性を持たせるためにも変更する。

問 後期高齢者医療制度の保険料試算はいつごろ出るのか。

保健福祉部長 今年の11月と聞いている。金額は確定していない。

問 引揚者住宅跡地の今後の活用方法は。

町長 売却も視野に入れ、住民や議会からも意見を伺い、幅広く検討したい。

質疑の後、一般会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計は全会一致で、国民健康保険特別会計は賛成11人で可決しました。反対討論は阿部勝雄議員、守屋巨弘議員からありました。



委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています。

総務建設

日豪EPAに関する陳情

日豪EPAの政府間交渉において、牛肉・米などの重要品目の関税撤廃を豪州側が求めることに對し、国に意見書の提出を求めています。審査の中で、日本は食

料自給率が最低な状況であり、関税の撤廃により国内農業が崩壊する恐れがある。また、輸入食料品の安全性が問われている中、農業政策を見直し、食料自給率を高めていく必要があるなどの意見があり、全会一致で採択し、意見書を提出することに決まりました。

●一部採択賛成意見
1 マリンロード構想の見直しについてのみ採択すべき。
◎全部採択賛成意見
1 3646人の署名は非常に重い。一時工事を中止し、調査の結果を含め町民の理解と納得を求めるべき。
2 予算化されているとはいえ、町民の要望により考え直すべき。
◎反対意見
1 自然と人間との共生のため、知恵を働かせるのは行政に課せられた課題である。
2 真名瀬漁港再整備計画は、議会で事実関係を審査し事業化されたものである。
3 国と県との事業であり、天然漁場の保全と藻場の形成など、漁民の便宜を図ることが主目的である。
4 公益性・公共性を斟酌して自然環境に配慮

しながら、遊歩道を含め漁村再生計画は進められている。
採決の結果、一部採択及び全部採択の意見は賛成少数であり、不採択と決定しました。
委員長 待寺 真司

教育民生

教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願

住民の健康を守る保健制度の拡充を求めることに関する陳情

少人数による、きめ細かい教育の実現のため、教職員定数改善計画の早期実施や義務教育費国庫負担率を現行の1/3を1/2に還元し、地方交付税などの国の予算拡充、教職員給与の財源確保と充実を求める意見書の提出を求めています。審査の中で、義務教育費は国が責務を果たすべきであるなどの意見があり、全会一致で採択し意見書を提出することに決まりました。

住民の健康を守る保健制度の拡充を求めています。特定保健指導の実施に当たり従前の健診事業などの存続・継続とともに住民の健康を守る保健制度の拡充を求めています。審査の中で、住民の健康を守るため予防検診や検査検診は重要であるとの意見があり、全会一致で採択しました。

この2件の陳情の趣旨は、神奈川県は生徒1人当たりの私学助成金の額が全国最低レベルで、高校の初年度納付金額の公私格差は7倍にも達しており、憲法、教育基本法等の理念に基づいて、現行の私学助成制度を更に拡充するよう町に求め、そして、国・県に対し意見書の提出を求めているものです。審査の中で、国が三位一体の構造改革を進める中で私学助成制度が厳しくなっており、現実には保護者への経済的負担も増大しているなどの意見があり、全会一致で趣旨了承する

●葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情書
●国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択を求める陳情書

葉山町の私学助成制度拡充を求めている。現実には保護者への経済的負担も増大しているなどの意見があり、全会一致で趣旨了承する



ことに決まりました。

保険でよい歯科診療の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

歯や口腔の機能は、全身の健康につながるが、実証されているが、公的医療費の抑制により患者の自己負担が増大している。また、過去30年にわたり、新しい治療法が保険適応になっていないので、保険でよい歯科医療を確保できるよう国に対し意見書の提出を求めているものです。

開設準備委員会からの検討結果報告書について説明と質疑を行いました。

・平成20年10月の開設を目途に進めている。

・運営費は2千万円程度になる見込み。

・頑張る地方応援プログラム交付金を活用して子育て支援推進を行う。
・耐震補強工事費用は約500万円。

委員長 伊東 圭介

ごみ問題特別

ごみ処理について葉山町独自処理(案)を試算し説明会を開くことを求める陳情

審査の中で、歯の健康は全身の健康につながり、ひいては医療費の削減になるなどの意見があり、全会一致で採択し意見書を提出することに決まりました。

所管事項調査

「子育て支援センター」について

「子育て支援センター」を求めているものです。審議のなかで、7月に



クリーン葉山2007

議会運営

行ったパブリックコメントは、2市1町でそれぞれまとめている段階で、11月中には資料ができること。

また、自区内処理の試算は、さまざまな想定があり、具体的な試算作成は大変難しいとの意見がありました。しかし、11月中には試算の報告はできるとのことでした。

よって、この陳情は継続審査としました。委員長 鈴木 知一

なスケジュール等を決めました。その中に町民との懇談会や町民アンケート、公聴会も含めることにしました。まず町民の議会に対する意見を伺う会を11月29日と12月2日に行うことにしました。

懲罰特別

9月14日 第3回定例議会日程を決めました。

9月28日 追加議案の議事日程及び締め切り後、新たに出された陳情の取り扱いを決めました。

10月12日 平成20年度議会予算について議論をしました。枠配分方式に対する対応の仕方や常任委員会行政視察についての意見が多く出されました。

10月17日 懲罰動議の議事日程と懲罰特別委員会の編成をしました。

10月18日 100条調査動議の議事日程を決めました。

10月19日 辞職勧告決議案動議の議事日程を決めました。
委員長 佐野 司郎

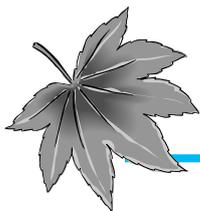
『議員森勝美君に対する懲罰動議』について慎重審査を行いました。

動議の趣旨は、10月15日の議会休会中に開催された総務建設常任委員会の陳情審査における森勝美議員の発言に裏づけがなく、議員の品位の保持に反する行為であり、懲罰を科すことを求めているものです。

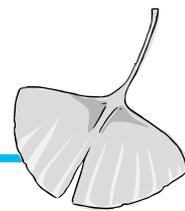
審査では、動議の内容について、事実確認を行い、懲罰処分の対象になるものと決しました。

懲罰の種類については、陳謝という意見もありましたが、採決の結果、森勝美君の6日間出席停止の懲罰を科すべきものと賛成多数で決しました。

委員長 佐野 司郎



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



- ◎教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願……………全会一致で採択
- ◎日豪EPAに関する陳情……………全会一致で採択
- ◎「平成17年度新規採択希望地区漁村再生交付金真名瀬地区漁村再生計画」工事内容全般の見直し及び再調査と「マリンロード構想」（平成8年3月に葉山町・神奈川県横須賀土木事務所・（株）エコーの三者によって提案）の見直しを求める陳情書……………賛成5人で不採択
- ◎住民の健康を守る保健制度の拡充を求めることに関する陳情……………全会一致で採択
- ◎葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情書……………趣旨了承
- ◎国・県に私学助成制度拡充を求める意見書の採択を求める陳情書……………趣旨了承
- ◎保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情書……………全会一致で採択
- 〈要望〉
- ◎「三浦郡葉山町下山口字白石1695旧石井邸及び朝吹邸の造成」についての要望書……………机上配布

◆◆◆ なお継続して審査します ◆◆◆

- ◎重度障害者医療費助成制度を含む、3助成制度に対する陳情書
- ◎ごみ処理について葉山町独自処理（案）を試算し説明会を開くことを求める陳情

こんなことが 決まりました

◎引揚者住宅使用条例を廃止する条例

長期にわたり入居者不在であった引揚者住宅（堀内2156番）の老朽化及び、防犯上の問題等を勘案し、同住宅の用途を廃止するためのもの、全会一致で可決しました。なお、撤去するための費用は補正予算に220万8千円が計上されました。

◎町道の廃止について

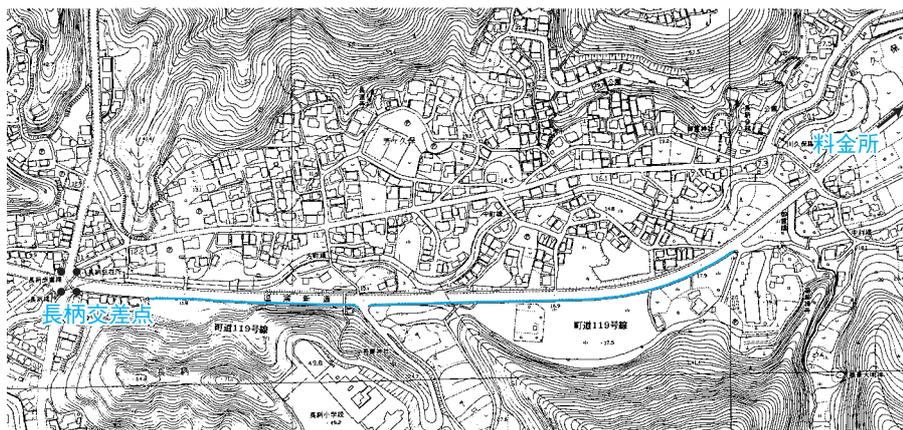
道路法第10条第3項の規定により、長柄字大山888番1地先から、同川向234番8地先までの町道を廃止するもので、全会一致で可決しました。なお、歩道は県道として整備されます。（場所については下記の地図参照）

◎選挙管理委員会および補充員の選挙について

委員は安達和子、行谷眞一、濹谷清一、新倉寛の各氏、補充員は駒木根仁、仲野学、田辺喜久子、阿部宣康の各氏に決まりました。

◎教育委員会委員の任命について

現委員矢嶋洋昭氏の任期が平成19年10月23日付けをもって満了し、新たに後任委員を任命するため、原田啓子氏の任命に同意しました。



廃止される町道

意見書を提出しました

◎地方自治法99条の規定により、各意見書は提出先へ送付いたします。

◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

日豪EPA（経済連携協定）交渉に関する意見書

日豪EPAの政府交渉において、重要品目が関税撤廃となれば、国民食料の完全保障面や地域農業の振興に甚大な影響をこうむる。よって、日豪EPA交渉に次の事項を実現されるよう強く要望する。

1. 米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの重要品目は除外または再協議の対象とする。

2. WTO農業交渉における我が国の主張に基づいた対応を図ること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、財務大臣、

農林水産大臣、経済産業大臣

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔の機能が健康に大きな役割を果たし、医療費抑制の効果があることが実証されているが、公的医療費の抑制により患者の自己負担が増大し、保険での歯科医療が受けにくくなっている。

よって政府は、次の事項について実現されるよう強く要望する。

1. 患者負担を軽減すること。

2. より良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること。

3. 普及している歯科医療技術を保険ですべて適用できるようにすること。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・

総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣

教育予算の拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担金の負担割合が縮小されたが、厳しい地方財政の状況などから教育条件の地域間格差が広がっている。

よって政府は、義務教育費国庫負担制度を2分の1に復元し、義務制第8次・高校第7次の教職員定数改善計画を早期に実施すること。また、教職員給与の財源確保や充実、学校施設・就学援助等の教育予算の拡充を強く要望する。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・

文部科学大臣

私学助成制度の充実を求める意見書

神奈川県では、私学の学費は公立高校と比べると著しく高い。経済的な理由によって私学への進学をあきらめる子どもが出ないように、私学への助成制度を更に拡充し、次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

1. 私立高等学校等への助成金の一般財源化を行わず、国庫補助金の増額を図ること。

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・

文部科学大臣

私学助成制度の充実を求める意見書

神奈川県では、私学の学費は公立高校と比べると著しく高い。経済的な理由によって私学への進学をあきらめる子どもが出ないように、私学への助成制度を更に拡充されたい。

提出先 神奈川県知事



質問 っぱん

質問者の提出原稿（11字×50行）を基に編集しています

守屋 巨弘

謝罪し辞職すべき

副町長 当局との対応で考えたい



付けでそれを受理した。副町長自身が本件の説明責任を果たし、謝罪のうえ辞職すべき。

副町長 私は横浜地方検察庁横須賀支部から10月23日に事情聴取をした旨の連絡を受けた。今後このことはその推移を踏まえて考えたい。

副町長 建築確認申請を出した場合にはそれらは自動的に課税されるので、納税している。

副町長 真名瀬漁港区の管理者は葉山町長であり、町長に次ぐ立場の副町長がこのような事態を引き

起こしたことは信じがたいことだ。本来は管理者としての町長が告発すべきで、町長の考えは。

副町長 私の漁港管理者としての責任は同整備法第39条の2の規定により、原状回復させることであり、それを早期に実現するよう命じている。

副町長 平成17年6月議会で鈴木助役（当時）選任の時点でも、当人の不法占用状態は続いていたのであり告発以前に町長はかかるべき判断をすべきだったと考えるが、町長の副町長任命責任は。



飲食店撤去後の跡地

金崎 ひさ

遊歩道計画について

町長 町民と協働で取り組む

町長 葉山海岸遊歩道として、県の神奈川力・プロジェクト51の三浦半島ぐるり一周プロムナード構想に位置づけられているので補助をお願いしながら、昭和の散歩道構想がそれらの集大成と考えている。多くの町民の

町長 葉山海岸遊歩道と併せて、県が補助している。昭和の散歩道構想がそれらの集大成と考えている。多くの町民の

町長 新たなエネルギー源は必要だ。検討する。

町長 国は個人宅への補助は行っていないが、地域開発の業者には補助して

町長 国は個人宅への補助は行っていないが、地域開発の業者には補助して

いる。その際、太陽光発電の設置を奨励してはどうか。

生活環境部長 その補助は承知していなかったの

生活環境部長 その補助は承知していなかったの

生活環境部長 その補助は承知していなかったの

生活環境部長 その補助は承知していなかったの

町長 尿処理施設の改善が急がれるがその予定は。

生活環境部長 性状調査を行った。希釈装置が必要なので施設設備費などを含め検討中である。

町長 温暖化防止に対する

町長 温暖化防止に対する

町長 温暖化防止に対する

町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。



町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。

町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。

町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。

町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。

町長 葉山の海の景色を楽しみながら安心して歩ける道づくりを進めたい。

鈴木道子
 庁舎等の省エネ診断を
 町長 調査し対応する



教育長 校長と相談しながら調査したい。

問 歯周病検診の実施は。

町長 歯の消失の大きな原因であり全身の健康レ

ベルに大きな影響を及ぼ

し、歯科の医療費の割合

も大きい。検討する。

問 子育て支援の視点か

らも妊産婦検診無料枠の

拡大をすべきだがどうか。

町長 県下では来年度以

降、拡大する方向だ。具

体的事項の決定はまだだ

が、調整を図り対応する。

問 乳幼児医療費無料化

の拡大について、去る9

月に県知事の答弁がなさ

れた。一部負担金につい

ての町の対応はどうか。

町長 よく検討し、対応

を考えていく。

問 環境省はカーボンオ

フセット導入の検討会を

立ち上げた。地球温暖化

防止の観点から、庁舎を

はじめとする公の建物か

ら省エネ対策を実施すべ

きた。無料の省エネ診断



町役場にて

待寺真司

建築物の耐震化促進のため早急に調査を

町長 自分の家屋の状況認識は重要だ

保健福祉部長 さらなる

検討が必要だ。

問 県の補助枠がふえる

が、どの程度か。

保健福祉部長 1.7倍だ。

問 その軽減分は子育て

支援に充てるようにとの

県の指示と聞いているが、

町はどうするのか。

町長 よく検討し、対応

を考えていく。

問 環境省はカーボンオ

フセット導入の検討会を

立ち上げた。地球温暖化

防止の観点から、庁舎を

はじめとする公の建物か

ら省エネ対策を実施すべ

きた。無料の省エネ診断

があるそうだ。実施すべ

きたが、どうか。

町長 大変よい提案だ。

早速、調査し対応する。

町長 機能自体もまだま

だ不確定な要素もあり、

精査する中で対応を図る。

問 昨年1月の「建築物

の耐震改修の促進に関す

る法律」改正への対応は。

町長 県と連携・調整し

町の耐震改修促進計画の

策定を進めていく。

問 町内で昭和56年以前

の建築物件数は。

都市経済部長 今現在、

おおよそ5千軒だ。

問 住宅密集地や避難道

路に面する家については、

早急に調査が必要だが。

町長 家屋の状況認識の

ため診断が必然的になる。

問 大震災発生後、家屋

の危険度診断判定技術向

上のためにも、危険度の

高い家屋への、現地実地

診断の自己負担分1万円

を、無料にしたらどうか。

町長 検討を加える。

問 学校施設の耐震化率

が低いとの指摘があるが。

教育部長 当町では渡り

廊下等、校舎の施設区分

数(分母)が多いため%



葉小屋内運動場入口

では低くなってしま

う。耐震工事は順調に進んで

おり、平成23年度には全

校完了する計画だ。

問 原子力空母横須賀母

港化が来年8月と、異例

の発表が出たが対応は。

町長 横須賀市の情報や

知恵を借りながら、対応

を図っていきたい。

問 緊急地震速報の運用

開始に対する、町の対応

策などについて伺う。

消防長 自主防災組織の

訓練や講演等で周知を図

る。行政防災無線や分団

のサイレンの活用には課

題があり検討を加える。

問 個別受信機の各家庭

への普及が必要だが。

伊東圭介

まちづくりに重要な里山条例の制定は
町長 県の条例制定の推移を見守りたい



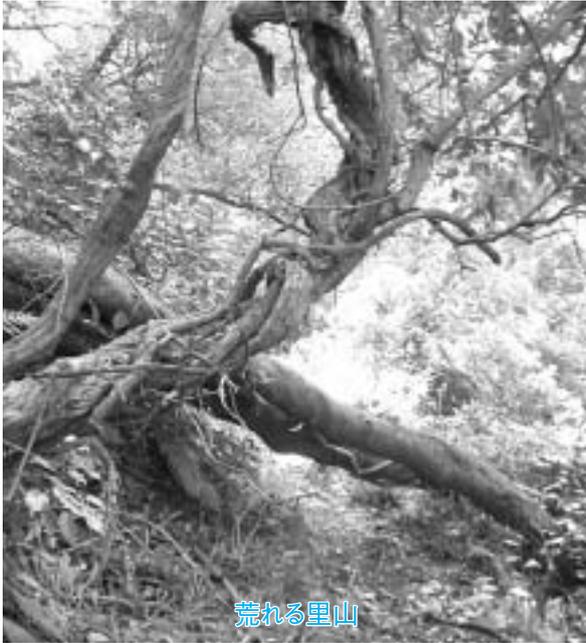
いて伺う。

町長 高齢化の進展及び医療技術等の進歩に伴い医療費は、年々増加している。法定繰入金を除き、

問 当町の国保事業を巻きく状況は、最近5カ年の推移を見ても加入世帯数の22%の増、被保険者数で26%の増となっており、今後も保険給付の伸びが懸念される。今後の国保事業の運営方針について伺う。

独立した事業運営が望ましいが、不足する場合は一般会計からの繰り入れが必要であると考え保険料の安定化を図る。

問 来年度の保険料賦課方式変更に向けた取り組みの進捗状況を伺う。



荒れる里山

保健福祉部長

賦課の方法をこれまでの町民税所得割額からの算出によるものから所得額によって算出する方法に変更する準備を行っている。資産割については、検討中である。

山梨崇仁

仕事を客観的に分析する評価書の再設計が必要
総務部長 意見を取り入れつつ、よりいい方向に検討する



問 来年4月から特定健診・特定保健指導の実施が義務化されるが当町の取り組み状況は。

町長 現在、実施計画を策定中であるが、社会保険等の被扶養者の受け入れ、自治体間の健診費用のばらつき、保健指導を行う際の人材及び委託先の確保等、様々な課題があり調整を図りながら準備を進める。

問 2市1町の広域化処理計画には2点の根本的な問題がある。代替案等リスクヘッジすべきでは。

町長 いろいろな案が心の中にはある。時期と背景を見て案を出して行く。

問 学校と家庭、地域が三位一体となつて本来の教育に資すると考えるが、学校がこたえるべき役割についての見解を伺う。

町長 いろいろな案が心の中にはある。時期と背景を見て案を出して行く。

問 学校内における防犯、防災対策の強化は。

教育長 様々な対策を行っているが、これでもいいというものはひとつもない。今後とも考えられるすべてに対応したい。

問 里山の保全・活用について今後の方針を伺う。

町長 今年度は、逗葉新道沿いの町有緑地を対象にボランティアの方々と協力し、はびこる「つる」の除去を実施した。

他の質問 消防の現勢等

問 学校と家庭、地域が三位一体となつて本来の教育に資すると考えるが、学校がこたえるべき役割についての見解を伺う。

教育長 勉強を教える場所でありつつ、海と山と葉山の町に育つたことを感謝できる教育をしたい。

問 適当とはいえない行政評価が運用されている。事業の仕分け選定や評価基準の再検討を行うべき。

総務部長 十分考慮しながら、再検討をしたい。

問 評価書の記入に職員も苦労した跡が見られる。行政の基礎体力である職員の能力、資質向上に研修や学べる職場環境の再構築も検討できるのでは。人材は財産だ。「人材」と考え、働く人の活性化に尽力してもらいたい。

町長 職員の質を高めることは重要な要素。十分対応を図ってまいりたい。



分かりやすい資料で、分かりやすい町政を

問 混ぜればごみでも、分ければ資源。ごみ資源化に、写真を使った分かりやすいチラシの作成や、町のHPを作りこむなど、さらなる啓発をしては。

町長 住民周知に向け、担当へ指示をしつつ、万全を期したい。

問 2市1町の広域化処理計画には2点の根本的な問題がある。代替案等リスクヘッジすべきでは。

町長 いろいろな案が心の中にはある。時期と背景を見て案を出して行く。



干潮時の真名瀬漁港の遊歩道イメージ

畑中由喜子

昭和の散歩道にはいろいろな意見がある
総務部長 いろいろな形で意見を頂戴すると思う



問 遊歩道計画はこれまで全容が明らかになっていない。説明責任がある。
町長 マリンロード構想などこれまでの集大成が昭和の散歩道計画である。
問 昭和の散歩道部会で

の検討結果の公表は。これは一つの民意を反映した形だが、他にも意見はある。どう反映できるか。
総務部長 検討結果は公開したい。構成メンバーもお知らせする。いろいろな形で意見を頂戴する形になると思う。
問 「昭和の日」創設記念事業の実施を求める追加署名が町にしか提出さ

れないのは不適切では。
総務部長 推進会等と協議して対応を検討する。
問 真名瀬漁港の遊歩道は、ちよっとした荒天でも波をかぶり藻が付いたら滑って危険ではないか。
町長 藻がついてぬるぬ

横山すみ子

行政評価に専門家のアドバイスを得ては
町長 そいつ方向で検討させていただく



問 前回ご質問した歩道改良の中で、道路標識などで通りにくいエコーハイツ付近の歩道について、取り組まれたことがあれば伺いたい。
町長 一色地区大道から御用邸までの歩道の一部に電柱や道路標識で通り

にくい箇所がある。管理者である県土木事務所と対応について協議を行っている。
都市経済部長 町職員が早速現場を調査し、位置図と写真を持って県土木に改善要求を行ったが、大きな予算を必要とするので検討するという回答でとどまっている。

問 道路改良は時間がかかるが、粘り強く取り組んでほしい。
町長 行政評価は内部評価のみでは限界がある。外部のアドバイザー的なものを取り入れるというご提案は、同感である。

次に、町は19年度行政評価を本格実施している。行政評価には様々な進め方があるので、町民への公表や外部評価の実施、総合計画との関連づけなどに入る前の段階で、外部の専門家のアドバイスを得てはどうか。
町長 行政評価は内部評価のみでは限界がある。外部のアドバイザー的なものを取り入れるというご提案は、同感である。

るになるかどうか専門家と調整をはかっていく。
問 まちづくり町民会議の多岐にわたる第2回提言書への対応は。
町長 実現可能な限り反映させていきたい。
問 ごみ処理の町独自案を早急に示すべきだが。
町長 町単独では施設用地の確保や交付金が出ないなど財政面で極めて困

難な状況だ。広域処理との比較資料は整い次第、提示する。
問 台風9号で海の家が倒壊し、露出した浸透枳をその場で破壊して汚水を砂浜に放出した。不衛生である。厳正な対処を。
町長 汚水の法的措置づけが分からないが県に管理の徹底を要望していく。

その方向で検討させていただく。
問 これから整備される子育て支援センターのメニューに、親子が食事できる場所を加えてほしい。
町長 あの施設を整備し、これからオープンに向けて作業するが、いまのご指摘も含めてそういうご意見を全部聞かせていただいで、できる限り対応したい。



エコーハイツ前の歩道

阿部勝雄
横須賀市の資源化・減量化目標は空き缶1個か
生活環境部長 葉山でも資源化を進める



問 内容がわからなければ何を減らすかわからないのではないかと。

町長 分別方法で異なる。共同で分別を合わせる。

問 各市・町のごみの成分分析は。

生活環境部長 成分調査の資料は持っていない。

問 都市形態で内容が違ってくるのでは。

生活環境部長 生活形態で若干違いはある。

問 今一番大きな施設は。

生活環境部長 詳しい把握はしていない。



工事中の防波堤

問 葉山町工事請負業者等指名停止要綱が改正され、独占禁止法違反行為の指名停止時期を60日間猶予を認めた考え方は。

町長 表現を明確化した。猶予したことでも平成19年6月20日に公正取引委員会から排除措置命令



近藤昇一
入札監視委員会の設置は
町長 検討したい

と課徴金納付命令が出された会社が期間中に2度にわたって入札に参加し、7月31日に真名瀬防波堤延伸工事(その2)を1社応札で落札した。旧要綱なら指名停止期間中である。同社が(その1)を落札し、(その2)(その3)も参加する可能性があるにもかかわらず、なぜこの時期に入札を行ったのか。

町長 年末から年始にか

けて、西の強風が吹く。一刻も早くと思った。今は課題を整理し、適正な執行に向け対応を図る。

問 工事契約を二つに分けたのは議会の議決を避けるためか。

町長 司直の手に委ねられている。発言は控える。

問 オンブズマンによる副町長の告発・受理は職員に士気に影響を与える。町長の任命責任は。

町長 司直の手に委ねられている。発言は控える。

問 町の通知は原状回復である。10月末迄に撤去できなかった場合、辞職する覚悟は。

副町長 辞める。

他の質問 遊歩道、自治基本条例について

検討したい。

生活環境部長 90t/日だ。葉山町独自で実態調査すべきではないか。

町長 調査する。専門家の意向も伺う。

問 計画の資源化・減量化の設定目標は。

生活環境部長 一歩進ん

だところを目標とした。横須賀市の資源化・減量化の目標は、1人空き缶が1個となっている。生活環境部長 葉山町でも進めていく。

問 葉山独自の目標は。

町長 共同で定める。

問 均等割は公平か。

生活環境部長 共通部分もあり、均等割が発生することもあろう。

も問題ないのでは。

町長 市、町それぞれの考えも有り、すべてメリットだけとはいかない。

問 搬入量割や人口割で

が決めてから立ち上げる。

生活環境部長 各市・町



クリーンセンター

ごみ問題特別委員会視察報告

9月4日、東京都多摩市の多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場へ行政視察に行きました。

葉山町では2市1町ごみ処理広域化を検討する中で、平成25年度に不燃ごみ等選別施設を稼働する予定ですが、同規模の施設を16人の議員及び関係部課長が参加し視察しました。



平成14年に完成した工場で、同施設の中には焼却施設、粗大系ごみ処理施設やリサイクルセンターがあり、焼却炉の余熱を利用した蒸気タービン発電機での電力供給や、隣接している温水プールへの熱供給などを行っています。また不燃物の更なる分別をはかるため手選別による作業を行うなど、循環型社会の形成に向けた取り組みを進めています。

委員長 鈴木 知一

議員提案の動議

懲罰動議の提出

10月18日、伊藤友子議員ほか5人の議員により、10月16日に開催された総務建設常任委員会での森勝美議員の発言が「議会の信用を失墜させる」との理由で懲罰を求める動議が提出され、全会一致で可決し、議員15人で懲罰特別委員会を設置して審査しました。結果、森勝美議員の懲罰を「6日間の出席停止」とし、本会議では賛成12人の多数で可決しました。(詳しくは委員会レポートで)

調査特別委員会設置の動議

10月18日、守屋巨弘議員ほか4人の議員により、鈴木勘之副町長の国有海浜地不法占用の事務に関する100条調査特別委員会設置を求める動議が提出され、賛成5人の少数で否決しました。

副町長の辞職勧告決議

10月19日、守屋巨弘議員ほか3人の議員により、副町長鈴木勘之君の辞職勧告に関する決議(案)が提出され、賛成4人の少数で否決しました。

懲罰とは

議員が、地方自治法や会議規則等に規定された規律を乱し、これらに違反した場合に科されるのが懲罰です。懲罰の種類としては、

- ① 公開の議場での戒告
 - ② 公開の議場での陳謝
 - ③ 一定期間の出席停止
 - ④ 除名
- があります。

100条調査とは

地方自治法第100条に規定されている、議会に与えられた調査権のうち最も強力なものとして取扱われ、①関係人の出頭・証言・記録提出の請求と②関係団体に対する照会・記録送付の請求ができます。

議 会 活 動 日 誌

7月	4日	議会広報特別委員会	18日	総務建設常任委員会
	10日	行政視察来町	20日	第3回定例会
	11日・13日・18日	(長野県富士見町議会)	27日	議会広報特別委員会
	30日	議会広報特別委員会	28日	決算特別委員会
8月	7日	全員協議会	10月	
	7日	議員研修会	1日	1日～5日
	29日	議会運営委員会	9日	決算特別委員会
	7日	議会運営委員会	10日	議会広報特別委員会
	29日	総務建設常任委員会	11日	教育民生常任委員会
	30日	議会運営委員会	11日	総務建設常任委員会
	研修会	研究会	12日	総務建設常任委員会
9月	4日	議会運営委員会	15日	総務建設常任委員会
	5日	行政視察	16日	決算特別委員会
	7日	議会運営委員会	17日	総務建設常任委員会
	14日	教育民生常任委員会	17日	教育民生常任委員会
	7日	議会広報特別委員会	17日	議会運営委員会
	14日	議会運営委員会	18日	懲罰特別委員会
	19日	議会運営委員会	18日	議会運営委員会
	19日	議会運営委員会	19日	議会運営委員会

議会交際費支出状況

(平成19年4月～9月)

平成19年度上半期支出総額は271,315円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

種 別	件数	金額 (円)
慶弔費	7	85,750
会 費	3	20,000
寸志(祝金)	8	75,000
賛助金他	7	90,565
合 計	25	271,315

主催 葉山町議会

『町民の皆様のご意見を伺う会』

議会についてのあなたのご意見をぜひお聞かせください！

	日 時	場 所	駐車場
第1回	11月29日(木) 10:00~11:30	上山口会館	有
第2回	11月29日(木) 14:00~15:30	一色小学校新館	有
第3回	12月 2日(日) 10:00~11:30	葉桜会館	10台
第4回	12月 2日(日) 19:00~20:30	福祉文化会館	有

議会の透明性の確保、議会での自由な討議、充実した町民参加の議会を目指して、「議会基本条例」の制定を検討しています。

町議会議員が、上記の日程で皆様のご意見を伺いに参ります。

当日はご家族、ご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひ最寄りの会場へお越しください。

※事前予約は不要です。どなたでもご自由にお越しください。

◆問合せ先◆ 議会事務局 ☎046(876)1111(代表) 内線421

傍聴記

10月10日総務建設常任

委員会を傍聴しました。

傍聴していた男性議員

が、ある女性議員が発言

中に、斜め後ろにいる私

たち傍聴人にもはつきり

聞こえるように暴言を吐

いていました。また、大

きなため息をついたり、

椅子をトントン手で叩い

たりと落ち着かない様子

がとても目障りでした。

傍聴議員の方たちも最低

限の傍聴マナーは守って

ほしいと思いました。

一色 稲垣 智子

お願います!!仕事を
やりくりして、せつかく

議会や委員会を傍聴にき

たのに定員オーバーで傍

聴出来なかった、という

ことがないように改善し

てください。例えば消防

法やその他の決まりで難

しいのなら、とりあえず

急ぎビデオカメラなどを

導入して、他の部屋でラ

イブで見られるようにす

るとか、後日も視聴でき

るように準備したらよい

と思います。そろそろ住

民の立場に立つて、至急

検討してみてください。

一色 佐藤 正治

平成19年第4回定例会は
12月4日(火)からの予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。

お詫び

前号(第89号)の16ページ傍聴記の2段
目「正直、」の後に、「完全には、理解出来
ていない。」の一文が抜け落ちていました。
お詫びして、訂正します。



来年4月から75歳以上
を対象に「後期高齢者医
療制度」が発足します。
制度に対する批判が強ま
っています。

神奈川を含む一都三県
は連名で、「国庫負担の
増額」等の制度見直しを
緊急要請しています。

高齢になれば、色々な
病気が出てきます。ヨー
ロッパ諸国など「国民皆
保険」が確立している国
で、年齢で被保険者を切
り離し、保険料や医療内
容に格差をつけている国
はありません。

川柳の月刊誌に「老人
は 死んで下さい 国の
ため」という句が載って
反響を呼びました。

葉山でも、子育て支援
には力を注ぎ始めたが、
高齢者対策は後退してい
るように思えます。

地方自治法の本旨「住
民の福祉の増進を図る」
施策が求められます。

11月2日記 近藤 昇一